

2019年度処方適正化アプローチ事業の概要

1. 対象

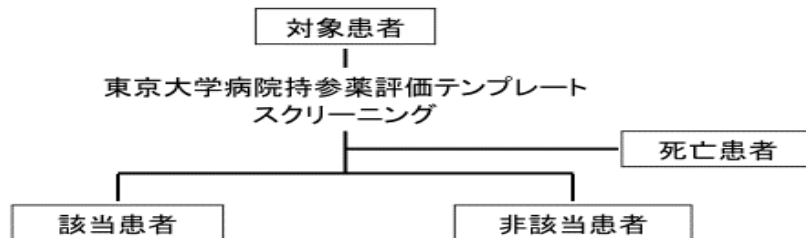
回復期リハビリテーション病棟または地域包括ケア病棟に入院した 65 歳以上の患者

2. 事業の内容

東京大学病院持参薬評価テンプレートを用いて、処方適正化が必要な患者をスクリーニングする。

スクリーニングされた患者（該当患者）および非該当患者に対して、入院中は通常の薬学的管理業務を行う。

退院後に入院時薬剤数と退院時薬剤数を比較して、該当患者と非該当患者の違いを明らかにする。

2019年度東京大学病院持参薬評価テンプレートを用いた
処方適正化アプローチ事業

スクリーニング項目

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 服薬困難で薬剤調整希望あり | <input type="checkbox"/> 同種同効薬 |
| <input type="checkbox"/> 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015「特に慎重な投与を要する薬剤」が処方 | <input type="checkbox"/> 薬物相互作用の観点 |
| <input type="checkbox"/> 服薬管理能力の低下 | |
| <input type="checkbox"/> 効果や副作用の観点 | |
| <input type="checkbox"/> 疾患や肝・腎機能の観点 | |

3. 事業の進捗状況

協力医療機関の全てで研究倫理審査を終了し、事業を実施中。

医療機関	地域	倫理審査
1	福岡	承認
2	福岡	承認
3	筑後	承認
4	筑後	承認
5	福岡	承認
6	福岡	承認
7	福岡	承認
8	北九州	承認